



かがやく浜の子

令和3年度7月号

令和3年度重点目標 「気づき 考え 自分から行動する子 → かがやきいっぱい」

大谷選手の行動から思う習慣化

メジャーリーグ日本人最多ホームラン数を更新。前半戦ホームラン数33本で単独トップ。オールスター戦に初の二刀流で選出され大活躍・・・。メジャーリーグの大谷翔平選手の活躍が、海を渡って連日のように取り上げられ、日本中に明るい話題として届いています。私も知らず知らずのうちに大谷選手の活躍を追うようになりました。休日には、テレビで放映されるエンゼルスの試合を視聴し、一喜一憂しています。そのような中、6月17日の試合での大谷選手のある行動が、SNSやTVで取り上げられ称賛されました。フォアボールを選んだ大谷選手が、一塁に向かう途中にグランドに落ちているゴミに気がつき、それを拾い上げるとポケットにしまったことです。

この行いを知った時、以前、卒業証書授与式で、卒業生に向けて話したことを思い出しました。それは、大谷選手に関わる次のようなエピソードでした。

(略) 大谷翔平選手は高校時代、一つの目標達成シートを使って、「なりたい自分になる」ことを目指しました。目標達成シートでは、まず、中心のマスに達成したい目標を記入します。大谷選手は「8球団からドラフト一位」指名という目標を書きました。(略) その目標の周りを囲むように8つのマスがあります。それには、目標を達成するために必要だと考える「体力作り」「コントロール」「きれ」「スピード 160km」「変化球」「運」「人間性」「メンタル」の8項目を書きました。その8項目一つ一つに付き、さらに8つずつ、それぞれを身につけるために行うことを周りに書いています。「運」を例に取ると「あいさつ」「ゴミ拾い」「部屋掃除」「審判への態度」「本を読む」「応援される人間になる」「プラス思考」「道具を大切に使う」です。運を引き寄せるためには、日頃からの行いが大切であると考えるのは、大谷選手の人間性が表れているように感じます。最終的には、大きな目標一つを中心に、8×8の64個の努力する要素が盛り込まれたシートになっています。(略)

(令和元年度白羽小学校卒業式校長式辞より)

大谷選手は高校時代から（あるいはもっと前から）「ゴミ拾い」を続けてきたことがわかります。今回のゴミを拾うという行為は、大谷選手にとって当たり前のことだったのかもしれません。一つのことを続けると、それがやがて当たり前のこととして習慣化します。やがては、それをしないと気分が悪いと思えるくらいになります。食後の歯磨き、靴の整頓などが良い例でしょう。家族の中で習慣化されれば、それが「家風」となります。一方、学校の中で多くの子供たちに習慣化されれば、それは「校風」となります。学校では毎年入学と卒業が繰り返されますから、校風とは、年々受け継がれ、育まれていくものと言えます。

本校では28年間「あさしおごはん」が大切な校風として継承されています。7月15日の登校時、急に雨が降ってきました。その際、自分の雨傘へ下級生を入れてあげる上級生の姿がたくさん見られました。こうした下級生を思いやって「気づき 考え 自分から行動する姿」も、校風として受け継がれていくものだと思います。



【朝の登校の様子】

1学期も白羽小学校の教育活動に、御理解と御協力をいただき感謝いたします。22日からの夏季休業中にも、子供たちへの御支援をよろしくお願ひします。一番の願いは、子供たちが事故や事件に遭うことなく、2学期また元気に登校できることです。（文責 校長）

※